

【呼吸器科】144-2【非小細胞肺癌】

(第 コース目)

*網かけ部分は必須記入事項

診療科:	病棟:
医師名:	印

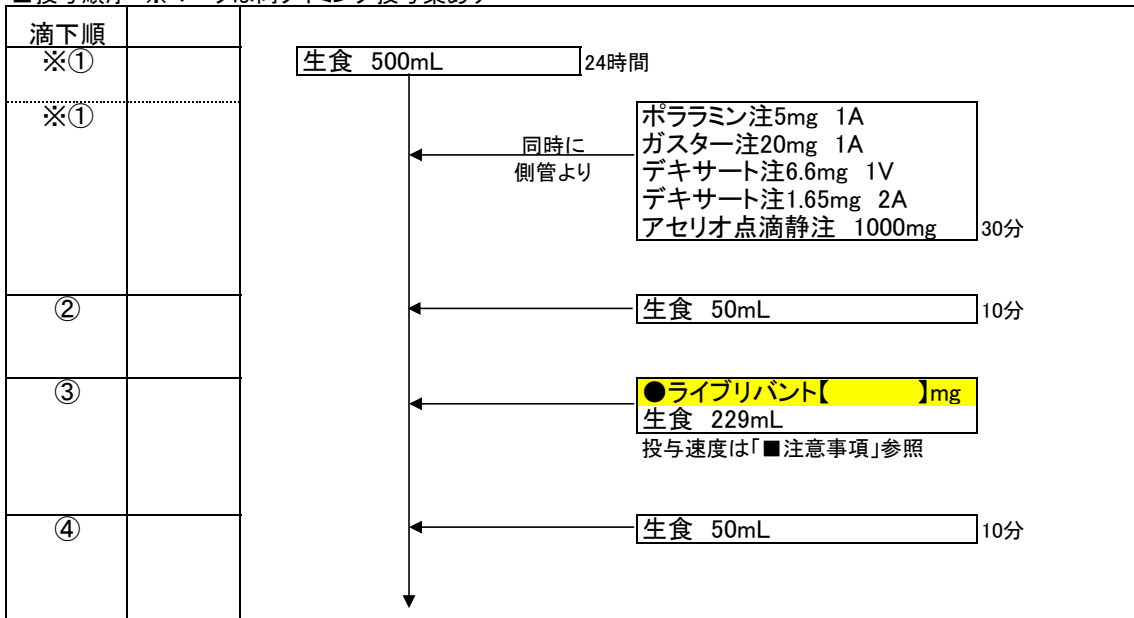
身長:	cm	体重:	kg
体表面積:	m ²	Cr:	mg/dL

■レジメン 下記が1コースの投与スケジュール :3週ごとを1コースとする

Day	-8	1	2	8	15	~21
施行日	/	/	/	/	/	/
ライブリバント		↓	↓	↓	↓	
ペメトレキセド		↓	休薬	休薬	休薬	
カルボプラチン		↓	休薬	休薬	休薬	
パンプタン末(経口)		初回投与の7日以上前から葉酸として1日1回0.5mgを連日経口投与する。				
メコバラミン注(筋注)	↓					

メコバラミン注(ビタミンB12):初回投与の少なくとも7日前に、1回1mgを筋肉内投与する。その後、9週毎(3コース毎)に1回投与する。

■投与順序 ※マークは同タイミング投与薬あり



■投与量 ※投与量の参考

薬剤名	標準投与量
ライブリバント	《Day1》 350mg/body 《Day2》 1050mg/body 《Day8,15》 1400mg/body
ペメトレキセド	500 mg/m ² mg/Body
カルボプラチン	AUC=5 mg/Body

薬剤師	看護師	看護師

■注意・確認事項

- 点滴セットはフィルター付き輸液ルートを使用すること。
- ライブリバントは調製後10時間以内に投与終了すること。
- NSAIDsとの併用は注意して下さい。
- 1週間以上前から葉酸を服用していることと、ビタミンB12の筋肉内注射投与を受けたことを確認すること。
- ライブリバントの投与速度
投与開始は33mL/時で開始し、Infusion reactionが認められない場合は、
投与開始2時間後に50mL/時 に投与速度を上げることができる。
- infusion reactionが認められた場合は投与を中断し、症状が回復した場合、発現時の50%の投与速度で再開する。
再開後の30分間にinfusion reaction の症状が認められない場合、中断時の投与速度まで上げることができる。
その後の2時間にinfusion reactionの症状が認められない場合、同日に予定されていた最高速度まで上げることができる。
infusion reactionによる投与中断・再開時に症状が再発した場合、投与中止を検討する。